

かがわ

自治連だより



●山地 ●農地
●住宅街 ●海岸

2026年(令和8年)

3月31日

Vol.32

発行:嘉川自治連合会

編集:広報委員会

住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし



令和7年度自治連活動報告	2・3
《新》いきいきサロン紹介	4
《新》サークル活動に参加して	5
地域では今	6
ふるさと嘉川への私の思い	7
私の自治会は	8

嘉川清掃の日 令和7年11月30日(日) …毎年11月末日曜日に開催

今年もゴミ拾い大作戦を実施しました。例年に比べて暖かく、少し薄着で活動ができました。詳しくは2ページに記載。(写真は国道2号岡屋インター付近の側道)

〒754-0897 山口市嘉川4651-1
山口市嘉川地域交流センター内
TEL/FAX:083-989-3956 Mail:info@kagawaj.com



ホームページを活用しましょう

パソコンやスマートフォンでご覧ください。

<https://www.kagawaj.com/>

ひとづくり部会

◎部会長 落合 敏行

自主的な活動団体を支援

誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、乳幼児から高齢者までの活動を支援しました。

乳幼児対象の「しゅっぱっぱ」や小学生対象の「夏休みふるさと学習」、中学3年生対象の「ちびっ子大集合」、自治会で取り組まれる「健康相談」や高齢者対象の「いきいきサロン」、「元気会や早朝ラジオ体操会」など、自主的に行われる地域活動団体に支援を行いました。



人と人とのつながりが、昔に比べて少なくなったと感じます。そこで部会では、楽しい健康ライフとして、健康づくりをキーワードに、地域の人たちとの繋がりを深める活動に取り組みました。

具体的には、参加者を募集して行う「元気あっぷチャレンジ」には35名が登録、年5回の健康講座や運動で体力増進。また、幼児から高齢者まで楽しめる「ス



スポーツ用具の充実と貸出しで地域のサークル活動や健康づくり団体の活動内容の充実に協力しました。

フレイル予防にも一役

前号で「健康寿命」について触れましたが、フレイル対策も必要です。フレイルとは「加齢により心身が衰えた状態」のことで、①身体機能の低下②心(認知機能)の低下③人や地域との関りの低下の三つが原因と言われています。

自分に合ったサークルを見つけ、地域や人との繋がりを持つことは、孤独や不安を解消し、楽しく健康に暮らすこととなり、フレイル予防にもなります。

環境づくり部会

◎部会長 深野 幸生

美しい環境づくりをめざして

「嘉川清掃の日(11月末の日曜日)」を設けて、国道2号沿いの3箇所清掃活動を実施しました。参加者は合計181人。それに川西中ボランティア「きずな」24人の協力がありました。全体で可燃物44袋、不燃物16袋を回収しました。ご協力くださった方々には大変感謝しています。どうしてこんなにポイ捨てがあるんでしょうか？

「ゴミのないきれいな町づくり」をめざして始まったのが平成20年、皆様の意識も高まり、ゴミが少なくなり、活動を行うことで親睦も深まります。一緒に参加してみませんか。

「まちじゅう花いっぱい運動」という取組も行っています。自治連では春と秋に花の苗を配布し、子ども会活動の向上や、青少年の健全育成に寄与しています。

嘉川駅でも11月に花の植替えをしました。寒かった冬を乗り切り、春先にはプランターいっぱいおに花が咲きます。



嘉川駅

是非お立ち寄りください。

安全づくり部会

◎部会長 秋本 武美

居住環境の改善整備について

人口が増加している自治会においては、道路の動線が変わったり、水路の流れが変わったりして、環境の変化に追従できないところもあります。人口の増加によって地域が活気づく反面、昔は経験しなかったようなことが多く発生しています。

道路や水路などの社会インフラは、造ることから保守・管理することへの方向転換が叫ばれ、嘉川地域でも、

ひとよし ものよし ところよし

で楽しく 住みたいまちづくり

活動報告

数箇所の法定外公共物の整備や河川の浚渫(しゅんせつ)など、関係者の要望により工事を実施しています。



河川浚渫(しゅんせつ)実施箇所
(県管理干見折川 免地地区)

これらの管理が適切に行えるように関係機関に要望し実施していますが、限りある予算の中で十分な対応ができない状況です。

私達の周辺がどのようになっているか、日々注意・観察して、気づいたことをお知らせください。

まちづくり部会

◎部会長 松崎 志郎

地域をつなぐ交流の場づくりを

「住みやすいね。嘉川」を実感していただく交流の場と情報の提供をおこないました。

嘉川子どもみこしは100名以上の参加予定でしたが残念ながら雨天で中止となりました。

嘉川ふれあいわくわくウォークは藤尾山公園ウォークと公園広場で、子どもから大人まで健康で楽しいイベントを満喫しました。

16周年を迎えた嘉川の地酒「嘉穂の郷」の酒米の田植え・稲刈り体験、ちびっ子酒蔵見学会に多数の参加者がありました。その際には参加者同志が交流し、嘉川の特産品に関心を深めました。



また、嘉川の特産品などを販売するKagawaMarketが奇数月に開催され、出展者・参加者も徐々に増え楽しい交流の場となりました。併せて、小・中学生の食育活動を実施し、地域の食材に関心を持ってもらいました。

最後に「かがわ自治連だより」、嘉川ホームページのブログ、写真コンテスト等を通じて嘉川の素晴らしい情報を発信しました。

「嘉川ふれあいわくわくウォーキング」開催

◎嘉川地区青少年健全育成協議会長 藤本 正克

11月16日(日)、嘉川地区の名所を巡る交流イベントとして「嘉川ふれあいわくわくウォーキング」を開催し、150名の多くの方に参加していただきました。

今年は、興進小学校を出発して、住吉神社(深溝東)、横山地蔵(寄江)、熊の丸井戸(唐樋)で出題されるクイズに回答しながら、藤尾山公園を目指しました。公園では、ニュースポーツで楽しみ、嘉川のり鍋、おにぎり、ぜんざい、わたがし、ポップコーンを食べ、最後はビンゴ大会で締めくくりました。



自主防災本部

◎副本部長 小池 誠一

みんなで安心防災 みんなで命を守りましょう

令和6年1月1日16時10分に能登半島地震、今年(令和8年)1月6日午前10時18分に鳥取県で地震が発生しましたが、嘉川地域には、今年度、大きな台風もなく、大雨で避難することもなく、幸いなことに大きな災害がありませんでした。

今年度も、小・中学生の防災学習を実施しました。小学生は4年生を対象に、嘉川小学校は、10月8日に徒歩で、興進小学校は、10月10日にバスに乗って交流センターまで来てもらい、防災クイズで災害時の命を守る方法を考え、避難所での生活や簡易トイレ、家庭で備える防災グッズなどを体験しました。

交流センターには、避難生活に必要な最低限の備蓄品を準備しています。災害時に、危険を感じたら早めに避難所へ避難しましょう。

台風や大雨は、気象情報により事前に心構えができますが、地震は、いつ起こるか分かりません。日頃から、地震への備えとして、非常持ち出しバッグ等を準備しておきましょう。



いきいきサロン・たかね

◎石井 浩一(下高根)

いきいきサロン・たかねは、上高根と下高根両自治会で構成されており、年6回奇数月(第2月曜日)にサロン、偶数月(第2月曜日)にスタッフ会議が開催されます。

7月、梅雨空でしたが紫陽花の花の色に心が和みました。最初に方言丸出しのラジオ体操をし、オープニングでは、なんと10年ぶりにファッションショーを催し、男女3組が出場しました。トップバッターの男性は純白の衣装、女性3人はカラフルなドレス。笠置シズ子の「東京ブギウギ」の流れる中、場内を笑顔で一周しました。ある出場者の男性が、組んでいた奥さんに「惚れ直したよ」という場面もあり、一同和やかな雰囲気になりました。皆さん堂々と演じておられ、私も少し緊張しましたが、楽しい時間でした。

次にみんなで小柳ルミ子の「瀬戸の花嫁」を歌い、

みなさん声がよく出ていて、楽しそうでした。参加者は出演者の人たちに心からの拍手を送られていました。最後に全員で記念撮影をして締めくくりました。お昼はおしゃべりとお弁当で、楽しい時間を過ごしました。この日の参加者は総勢21名でした。

今後も、皆さんに“また来たい”と言っていただけるように、スタッフ一同しっかり取り組んでいきたいと思います。



右端が筆者

いきいきサロン紹介



元気はつらつ 高見いきいきサロン

◎高見いきいきサロンスタッフ 本永 里美(高見)

「久しぶりー。元気じゃった?」

「なんとか生きちゃったよー。」

月1回のいきいきサロン、お互いの元気を確かめ合う声ははずみます。高見いきいきサロンは、毎月第3水曜日(8月はお休み)の午前10時から2時間程度の予定で開催されます。メンバーは運営代表者、民生委員、

福祉委員、ボランティアなどのスタッフ8名を含めて17名です。

会場やお茶とお菓子はスタッフが準備します。季節のお花や月替わりの折り紙のマスコットや飾り、手作りスイーツなど心を込めて準備しています。お茶とお菓子をいただきながらしばらく歓談した後は、お楽しみタイムです。

今年度は、脳トレなどで頭を鍛えたり、お助け隊などのゲストを招いて音楽鑑賞をしたり、防犯のお話を聞いたりしました。また、ポケットゴルフなどの器具を借りてきて、体を動かして皆で盛り上がりました。隣どうしても挨拶する程度で、ゆっくり話す機会が少なくなった昨今ですが、月一度のいきいきサロンは、貴重な情報交換の場であり、リフレッシュの場ともなっています。

最近では体調不良などで、メンバーが減少傾向ですが、これからもサロンがますます盛り上がり継続していけるよう運営推進に工夫をしてきたいと思えます。そして、皆の絆がより強くなり、いざという時の安心安全につながることを願っています。



ポケットゴルフ

陶芸への思い

◎渡邊あつ子(西本郷)

私が陶芸を始めたのは20数年前のことです。嘉川地域交流センターで嘉川遊陶会に出会いました。自分の作った料理を自作の丸皿・角皿や大鉢に盛りつけて、テーブルに並べてみたいと思い陶芸教室へ入会しました。

粘土の菊練から練習を始めたのを記憶しています。口ク口成型は、私には難しいと思い、手びねり、ひもづくりは簡単に作れると思いました。

しかし、頭の中の作品が手に伝わらず何回作っても納得できる作品になりません。成型はよくできたと思っても釉薬のかけ方で窯から出てくるイメージと違った作品になります。粘土や釉薬を色々替えて少しでも軽くて使いやすく収納しやすい器を作りたいと頑張っていました。

ある日、傍で見ていた父から「ご飯茶碗を作って欲

しい」と言われました。その頃の父は毎食ご飯の量を計って食べていましたが、ご飯の量より茶碗が重く「ご飯を食べ終わっても茶碗が軽くない」と笑った顔を思い出します。

今では四季に咲く花を見ると、大きな花器や一輪挿しの花器を作って花を生けたいと思い、いろいろな花器作りに挑戦し、四季に咲く花を生けて楽しんでいます。



作陶窯

サークル活動に参加して

フォークダンスと私

◎寿賀 順子(岡屋)

嘉川地域に移り住んで30年になります。地域交流センターの活動の中で、フォークダンスのお世話をされている方から入会を勧められ、熱意に負けて何回か行くうちに、会の和気あいあいとした雰囲気に触れ、地域に慣れるためには色々な人との接触が必要だと思って入会しました。

微力ながらお世話させていただくようになってからほぼ10年となりました。会員みなさんに協力していただき、いつも感謝をしています。入会当時から現在まで同じ先生に指導していただき練習に励んでいます。

前回習ったダンスで習得できていないところや、新しい曲も練習したりして、終わるころには皆が踊れるようになりますが、次回には振り出しに戻ってしまいます。でも、先生は、新しい踊りを覚えるときには脳も活性化するし、日常と違った動きは転倒防止につながると言って、無理なことは言われず励ましてくださ

います。なので、間違ってもよくよせず、前向きに笑ってごまかします。会員(平均年齢83歳)も半分くらいに減っており、なんとか少しでも長く続くことを願ってやみません。

人生100年時代と言われますが、少しでも施設のお世話にならないように、年令を重ねていきたいと思っています。自分の身体は自分で守るということを念頭において毎日を送っていきたいと思います。



前列右から2番目が筆者

地域では 今...

歌声は世代を超えて地域をつなぐ ～川西中きずなドリーム合唱団～

◎ 岩崎 知恵子(川西中学校 校長)

「第17回山口教育のつどい川西大会」のアトラクションとして、1日限りの合唱団を結成しました。「川西に関係ある人で合唱してみたい人集まってください」「練習は3回だけ、11月の本番にデビューし解散します」の呼びかけに、なんと約90名以上の人が集まってくださり、現役の有志合唱団13歳から80代までの老若男女のドリーム合唱団が実現しました。

真夏のお盆に行った1回目の練習から音楽室にパワフルな歌声が響きました。男声の練習では現役中学生徒のおいちゃんにあたるくらいの方がハイトーンの素敵な声でリードされ、中学生が目を丸くして「すごい神です!」と言いながら一緒に喜んで歌う場面もありました。練習のたびに、歌声が一つになり、美しいハーモニーができる中で、やはり音楽の力は偉大だと実感しました。今回、初めて出会った人もたくさんいましたが、ずっと一緒に合唱していた仲間のように歌声と心が一つになっていくのです。そして迎えた当日、団員全員の輝く笑顔と美しい歌声は、披露した「ふるさと」♪志を果たしていつの日にか帰らん♪、「マイウエイ」♪私には愛する歌があるから、信じたこの道を私は行くだけ♪、そんな歌詞とともに、川西中体育館を大きな感動で包みこみました。歌声は世代を超えて、地域をつなぐかけがえのない川西地区の財産です。「嘉川。ひとよし ものよし ところよし」さらに「うたもよし」これからも「愛する歌」が響き「笑顔あふれる」地域でありますように。



県知事表彰受賞

◎ 藤井 和夫(嘉川地区防犯対策協議会副会長)

この度の『山口県犯罪のない安全で安心なまちづくり功労者』県知事表彰受賞は、正に“青天の霹靂”です。受賞にふさわしい活動を行ったのか自問自答しています。顧みれば大先輩から防犯活動のお誘いを受け、軽い気持ちでお引き受けをし気が付けば約15年を経過しました。

近年は、うそ電話詐欺、更にロマンス詐欺と、年齢層も高齢者から若年層と拡大し、固定電話からスマートフォン、SNSと様子は一変しています。係る状況下、県警察より「うそ電話詐欺防止戸別訪問隊」隊員を拝命頂き警察官の方々のご指導とご支援のもと3年目を迎え防止活動を行っています。戸別訪問はもちろん、各自治会で開催される「サロン」からのお声かけにより、私の体験談も交えながらお話をしています。

具体的には

- 1 固定電話は留守番電話モードに設定
- 2 スマートホンは登録番号以外には出ない、電話しない
- 3 近年は海外を拠点とした国際電話のため『十・プラス』で表示番号には要注意
- 4 固定電話には海外からの電話を止める手続きを警察にお願いすれば止める事が可能です
- 5 嫌な言葉ですが、猜疑心を持ち、本当?ウソでは?と“間”をとることが大切と思います
- 6 家族、友人、知人と更に警察を含め情報を共有しする事も大切

この度の受賞は激励をいただいた“頑張りましょう(賞)”と解釈し、防犯活動に励みたい思いを新たにしています。



中央が筆者

里山と道を守る、私の恩返し

◎ 本間 主帆(福岡)

幼い頃、嘉川の田んぼや川などの自然は私にとって当たり前の遊び場で、夢中になって遊んだ記憶は、今も心にあたたかく残っています。そんな嘉川で、先祖代々受け継いできた里山の土地を活かし、『Re:luxBASECAMP リルクスペースキャンプ』というキャンプ場を運営しています。荒廃しかけていた里山を少しずつ整備し、人と動物の境界線を守りながら、嘉川の自然を感じてもらえる場所にしたいと考えています。ここで過ごした時間が「楽しかったね」と語られる思い出として心に残れば、これ以上の喜びはありません。



また、自動車学校での勤務経験を活かし『運転家庭教師のFOCUS』としても活動しています。免許取得に悩んでいる方や、取得後に不安を抱える方、長いブランクを不安に感じる方にも安心してハンドルを握ってもらえるよう、一人ひとりに寄り添った指導を心がけ、一件でも悲しい交通事故を減らしたいという想いで、運転のサポートを続けています。嘉川は車が欠かせない地域です。だからこそ、命を守るお手伝いを大切にしたいと考えています。

私自身、そして子どもも、地域の多くの方々に支えられ、育てていただきました。この嘉川で受け取ったたくさんの優しさを、今度は自分の手で形にして返していく。里山と道を守りながら、嘉川がこれからも笑顔の続くふるさとであるよう、静かに、そして真っ直ぐに歩いていきたいと思っています。

『心を整える』お手伝い

◎ 渡邊 佳美(稽古屋)



令和4年元旦(嘉川八幡宮での最初の花手水)

やわらかな光に包まれ、嘉川で40回目の新年を迎えました。嘉川八幡宮の手水に花を飾らせていただくようになり、地域の皆さんの温か

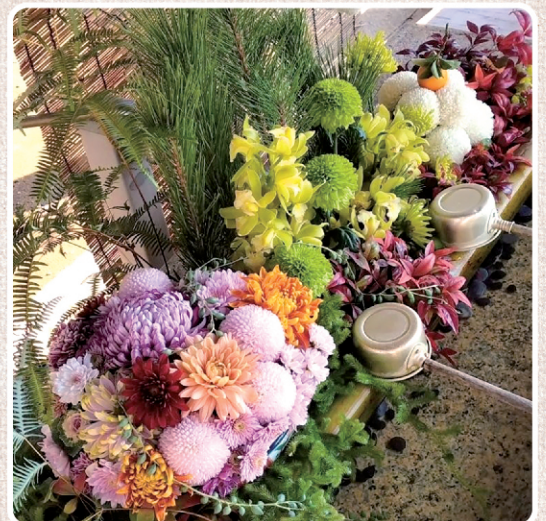
な見守りのお陰で5年目を迎えました。感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもの頃から、庭に咲いた花が玄関や食卓にある暮らしが好きでした。花嫁修業で始めた華道、子育ての合間に夢中になったフラワーアレンジメント、庭の畑での土いじり。花はいつも私のそばにありました。10年前、「人生の最終章(笑)」として、自分の花への想いを形にし、自宅に小さなアトリエを開きました。

嘉川八幡宮には、楠木や桜、藤、紫陽花、藪椿、苔やシダが息づき、鳥のさえずりが響いてゆっくりと時間が流れています。日々の喜びや苦し

み、悲しみをそっと受け止め、心を癒し整えてくれる場所です。花手水を通して、訪れる方の一助になればと思っています。

自然あふれる嘉川で、土や緑、花に触れる「お花時間」を、これからもご一緒できたら嬉しいです。



令和8年元旦

二つの自治会が協力・連携して、地域を守り
発展を目指す

◎原条西自治会長 有吉 俊

原条地区には原条東・西の二つの自治会があり、原条西自治会は嘉川地域の最西端、宇部市に隣接した環境の比較的穏やかな地区にあります。

原条西自治会は、現在30戸で組織しています。高齢化が進む中、自治会内の組織運営や活動は2班に編成し、2年交代制で役員を選任しながら取り組んでいます。嘉川地区体育祭、嘉川清掃の日や各協議会の活動等、さらに自治会主催の春秋の道普請等々生活に必要な様々な管理作業や活動にみんなで参加しながら、安心して住み良い原条西地区の維持・発展を目指して頑張っています。

また、原条地区の二つの自治会はそれぞれに組織運営や活動を独自に行っていますが、地区内にある公会堂、墓



原条区住民の共同作業で清掃を終えた八千戈神社
通称 黄幡(オウバン)さま

地、林地などの共有施設等の維持管理、八千戈(ヤチホコ)神社の祭事や共通する事業等の活動支援などについて、連携・協力を密にしながら住み良い原条地区を目指して取り組んでいます。

世代を超えて健やかに、活気ある大原を
目指して

◎大原自治会長 網本 雄二

大原自治会は、嘉川地区の中央から北東部に位置しています。国道2号大原インターやJR上嘉川駅に近く、少し足を伸ばせばJR嘉川駅も利用できるなど、交通の利便性に恵まれた環境です。そのおかげもあり、近年は少しずつ若い世帯も増え始め、地域の風景がより賑やかになってきました。

嘉川地域の運動会やソフトボール大会では、若い世代が中心となって活動し、地域の活力となっています。一方で、大原地区の行事である「春の花見会」や「クリスマス会」「年末のしめ縄作り」などを通し、子どもから高齢者までが自然に顔を合わせることが出来る「三世代交流」の場を大切に継承しています。

豊かな自然の中で散歩を楽しむ姿も多く見られ、穏やかで健康的な暮らしが大原の魅力となっています。これからも嘉川の一員として、他自治会の皆様と共に住みよい地域を築いていければ幸いです。



大原風景

嘉川地区の公園



嘉川地区にはいくつか公園があります。季節ごとの自然にふれてくつろいだり、子どもを遊ばせたりできる公園は、「赤坂公園」(赤坂)、「高見さくら公園」(高見)、「藤尾山公園」(唐樋)などがあります。詳しくは嘉川自治連合会ホームページの嘉川自治連だより〔第22号〕に掲載されていますのでご覧ください。

また、古墳や歴史に興味がある方は、「大浦古墳群公園」(高見)もいつもきれいに手入れされ、整備されています。

編集後記



この冬はヒヨドリの姿をほとんど見ませんでした。例年なら『ひいよひいよ』と甲高い声で飛んできて、庭のセイヨウヒイラギや南天の真っ赤な実を食べ尽くすのですが、今年は赤い実が残ったままです。一体どうしたのでしょうか。山に餌が多い、それとも異常気象のせいでしょうか。あのうるさい鳴き声も聞こえないと寂しいものです。

それはさておき、サロンやサークルで、はつらつと活動されている方々を、以前より自治連だよりで紹介したいと思っていました。そこで本号では新コーナーとして、自治会や嘉川地域交流センターで、或いは放課後の学校でサークル活動をエンジョイされている方々を紹介することにしました。紙面の枚数より毎号とはいきませんが、続けたいと思っています。ご期待ください。